

ごあいさつ

「ちいさな総合出版社」ミシマ社は、2026年10月に創業20周年を迎えます。この間、ジャンルを問わず、「おもしろい」を「一冊入魂」、約230の書籍・雑誌を発刊してきました。

一冊入魂には、本好きの方にかぎらず、日常的に本を読む習慣のない方にも、「おもしろい」を体感してほしい、そうした思いを宿しています。たまたまミシマ社の本を手にしたとき、「ちょっと読んでみようかな」と思わず、なる。そして、実際に読んでみたら、「おもしろかった」、「ミシマ社の他の本も読んでみようかな」、そんなふうになってもらえれば、もう最高です！また、ある特定のジャンルの本が好きという方には、他ジャンルを読むきっかけにミシマ社の本がなってほしいという希望もあります。

大胆に言ってしまうと、「おもしろい」というジャンルの本を出しているのが、ミシマ社という出版社です。ミシマ社を入りに、ひとりでも本の世界に触れる人が増えることを願ってやみません。

今回、目録を一新するにあたり、2025年7月、私たちの考えや思いを反映して編集・執筆した『新・仕事のお守り』の構成を引き継ぐことにしました（本目録とともに、本書も楽しんでいただけましたら嬉しいかぎりです）。

その「はじめに」にも書きましたが、創業以来、「絶版を出さない」方針を掲げてきました。が、200タイトルを超えた頃から、現実的に経営を圧迫する在庫量になってきており、末長い活動の維持には、改善が欠かせません。本目録で「僅少」と表記のある書籍は、実際の品切れ重版未定本と言えます。これからの時代に「おもしろい」をつくり続けるための必要な新陳代謝と捉えていただけましたら幸甚です。『新版 ザ・万字固め』『新・仕事のお守り』のように、増補新版にかたちを変えるといった工夫は継続してまいります。

本目録が、皆さまの豊かな読書生活の一助となりますように。

目次

ごあいさつ001
この一年で出た本 (2025年).....	.003
不安一掃 (あなたは大丈夫).....	.019
身体健全 (とにかく元気)027
商売繁盛 (儲けることと信頼と).....	.035
災厄消除 (地球環境が変わるなかで).....	.041
仕事上達 (見えない力を生かす).....	.049
文学一番 (生きた言葉を身体に収める).....	.057
平和祈願 (戦争のない世界で働くために).....	.065
刊行書籍一覧071

※この目録では、2025年までに刊行した本をテーマごとにご紹介しています。
各ページ末の「次の一冊」は、その本の「次」に読むことをおすすめする本です。

この一年で出た本 (2025年)



『新版 ザ・万字固め』

万城目学

2025年 | 256ページ | 定価1,700円(税別) |

ISBN:978-4-911226-14-8 |

装丁:尾原史和(BOOTLEG)



文学賞の落選にいじけ、瓢箪やまりもの生育と観察に没頭し、執筆の逃避から妄想を膨らませ、投資で大やけどを負い、旅と食べものと関西を愛し、今日も物語をつむぐ。直木賞作家の日常&奇想天外な世界。『ザ・万字固め』(2013年刊)に5本を加え、装い新たに復活。

*

私の名前は「万城目学」と書いて「まきめ・まなぶ」と読む。ちなみに本名である。幼い頃から、初見で読み方を当てられたことがない。——本文より

上田誠氏による「万城目文学の
恐ろしさ一挙却本化を許さぬ
文章の完成度について」(同誌の「シノガヒ通信」
も必読!)

(三島邦弘)

次の一冊

江弘毅／津村記久子『大阪的』

『口笛のはなし』

武田裕熙／最相葉月

2025年 | 280ページ | 定価2,000円(税別) |

ISBN: 978-4-911226-15-5 |

装丁: 寄藤文平・垣内晴(文平銀座)



実は知らない、もっとも身近で、最古の楽器!? 口笛世界チャンピオン・武田さんに、吹けないサイショーさんが訊く。文化、歴史、科学、音楽、超絶技巧…その奥深い魅力にはじめて迫る。

*

国籍、人種、性別、年齢、宗教、政治信条、性的指向——。一切の違いを超えてつながる口笛吹きのコミュニティには、不思議な居心地の良さと一体感があります。(…)ところで、最初の打ち合わせのときには口笛が吹けなかった最相さん。この本を書いている間に、見事に吹けるようになりました。ヒュー〜! やったね!——武田裕熙「おわりに」より

なにか一芸を身につけたい、という方
私は吹けない人生、とあきらめた方。
月間12回ください。きっと人生変わります。

(野崎敬乃)

次の一冊

最相葉月／増崎英明『胎児のはなし』

『はるってなんか』

みなはむ

2025年 | 32ページ | 定価2,000円(税別) |

ISBN:978-4-911226-16-2 |

装丁: 漆原悠一 (tento)



うつろう心情と自然を圧倒的な画力で描く作家・みなはむによる、季節を描く絵本シリーズ第1作。現代の日本の春を瑞々しく捉える、新しい古典のような傑作が誕生。



(本文12-13頁)

春だけではなく、
長く終わらない冬、しつこい寒さ...
の感じ方が変わり、季節が光輝きます。

(角智春)

次の一冊 後藤美月『おなみだぼいぼい』

『RITA MAGAZINE 2』

『死者とテクノロジー』

中島岳志 編

2025年 | 232ページ | 定価2,400円(税別) |

ISBN: 978-4-911226-17-9 |

装丁: 尾原史和 (BOOTLEG)



「死者」の問題を考えずして、利他は語れず！ 葬式、墓、仏壇、失われる弔いの伝統と、台頭するAI故人ビジネス。そのリスクと可能性を、情報学、文学、宗教、政治学…多方面から考察する。

*

執筆者：中島岳志／高木良子／ドミニク・チェン／平野啓一郎／高橋康介／佐々風太／松尾公也／古田雄介／パトリック・ストークス／西出勇志／谷山昌子／池口龍法

今話題の「死者」×「テクノロジー」が
更に身近に感じる一冊。

(西川和希)

次の一冊

未来の人類研究センター(編)『RITA MAGAZINE』

『学ぶとは 数学と歴史学の対話』

伊原康隆／藤原辰史

2025年 | 340ページ | 定価3,500円(税別) |

ISBN:978-4-911226-18-6 |

装丁: 寄藤文平・垣内晴(文平銀座)



2015年に歴史学者が出会った、学問に取り憑かれた数学者。生涯学びつづける者同士が28通にわたり繰り広げた、予定調和のない、最高に規格外の往復書簡集。人間は、ここまで考えられる。

＊

わからなければ勉強すればいい。えんぴつと紙をもって、何度も書いて、何度も考えて、じっくりと取り組めばいい。伊原さんは言葉に出さないで私に働きかけていたようです。——藤原辰史「はじめに」より

立ちどまるとこころ学が。
その徹の自由も学びてくゆる本。

(野崎敬乃)

次の一冊 松村圭一郎『うしろめたさの人類学』

『建築と利他』

堀部安嗣／中島岳志

2025年 | 168ページ | 定価1,800円(税別) |

ISBN: 978-4-911226-19-3 |

装丁: 鈴木千佳子



「いのち」と響き合う「住まい」へ。土、光、風、生き物たち、歴史、記憶…その土地に「あるもの」が活きる設計は、いかにして可能か。近代の「建築」を未来に向け更新する、画期的対話。

＊

アーキテクチャーを正確に訳せば、「何とか道」ではないか、という話なんです。茶道、華道、柔道、武士道のような。そうなると建築の見え方が変わってくると思うんですね。——堀部安嗣(本文より)

地球と歴史を
最大限に活かす家づくり

(須賀紘也)

次の一冊 光嶋裕介『つくるをひらく』

『心の鎧の下ろし方』

三砂ちづる

2025年 | 224ページ | 定価1,900円(税別) |

ISBN:978-4-911226-20-9 |

装丁: 漆原悠一(tento) | 装画: 朝野ペコ



闇など誰にでもある。あなたはどこにでも行ける。24年の教師生活を終え、竹富島に移住した著者。人生の機微を深いまなざしで見つめ続ける、珠玉のエッセイ集。

*

最低限の思いやりとコミュニケーションの力、要するに、なんとなくにこにことして、自分の勝手だけではなくて、人のことを思いやれるようになる、ということが、そこで「ひとつ人間になる」ということではないのか。——「まえがき」より

人生いろいろあつと
大丈夫かも、と思える。

(星野友里)

次の一冊 三砂ちづる『女たちが、なにか、おかしい』

『過去の学生』

前田エマ

2025年 | 168ページ | 定価1,800円(税別) |

ISBN: 978-4-911226-21-6 |

装丁: 脇田あすか | 装画・挿画: 坂巻弓華



つまらないわちぐちは、こうやって、こうやって、こう！
小説やエッセイの書き手として、モデルとして、ラジオパーソナリティとして…多方面で活躍する気鋭の作家が、幼い頃の学校生活から30歳での韓国留学まで、「学校」をテーマに綴る初のエッセイ集。

*

まっすぐ考えるために寄り道を繰り返す。

でも、その迷いがとてもよくて。

——ライター・武田砂鉄 氏推薦

かつて言葉にできなかった、
でもたしかにあった、気持ちがある
つまった一冊。

(野崎敬乃)

『新・仕事のお守り』

ミシマ社 編

2025年 | 240ページ | 定価1,800円(税別) |

ISBN:978-4-911226-22-3 |

装丁: 寄藤文平・垣内晴(文平銀座) | 装画・挿画: nakaban



不安な時、元気じゃない時、壁に当たった時、災害や戦争の続く世界で…「長期戦」を生きるヒントから、目の前の仕事を支える一言まで。ロングセラー『仕事のお守り』(2013年刊)を大幅改編、新たな仕事のお守りが誕生!

＊

私たちは、「ちいさな総合出版社」として、人文、文芸、実用、絵本など、さまざまなジャンルの書籍を手がけます。そうした活動のなか、(…)仕事に役立つすばらしい言葉に出会うことが多々あります。そのような言葉や、古今東西の名著から数々の金言を収録しました。

——「はじめに」より

視界が狭くなったとき、
仕事も人生もいらい長期戦だよ、
と思い出させてくれる言葉たち

(角智春)

次の一冊

ミシマ社(編)『ミシマ社の雑誌 ちゃぶ台』(p.40)

『仕事の壁はくぐるのだ』

川島蓉子

2025年 | 240ページ | 定価1,800円(税別) |

ISBN: 978-4-911226-23-0 |

装丁: 寄藤文平・垣内晴(文平銀座)



人が集まり働く、そこに起こるさまざまなトラブルや葛藤＝壁。その壁をくぐったり、ずらしたり、かわしたり…乗り越えなくても大丈夫！ブランディングディレクター、ライターとして活躍し、現役のままに急逝した著者が綴り遺した、仕事と、生きることの秘訣。

＊

柔らかでしなやかな、川島さんからのエールが、たくさんの方に届きますように。——編集部一同

川島さんの「壁をくぐる」について
星野友里さんの「壁をくぐる」について。

(星野友里)

次の一冊 大瀧純子『女、今日も仕事する』

『みんな大きくなったよ』

本上まなみ

2025年 | 224ページ | 定価1,900円(税別) |

ISBN:978-4-911226-24-7 |

装丁:名久井直子



ふるさと庄内、賑やかな家族、東京での仕事、子どもと暮らす京都…山や川や畑で遊び、美味しいものを作って食べ、北へ南へ旅に出る。さわやかでなつかしい、時間旅行のようなエッセイ集。生活者として・表現者として、家族や仲間と重ねた日々が詰まった一冊。デビュー作『ほんじょの虫干。』刊行25周年記念本

*

母の若いときが私に似ているという話から、「ではいっそ」と、表紙周りにも写真があしらわれることにもなりました。
——「まえがき」より

本上さんのやさしい文体が
時間旅行へ連れ出してくれます。

(西川和希)

次の一冊 本上まなみ／澤田康彦『一泊なのにこの荷物!』

『中年に飽きた夜は』

益田ミリ

2025年 | 152ページ | 定価1,600円(税別) |

ISBN: 978-4-911226-25-4 |

装丁: 鈴木成一デザイン室



これは漫才か、人生の叫びか？ さあ、深夜のファミレスへ。「人生って ほぼ中年やん？」50歳たちのゆる笑い劇場に、笑って、納得！言えなかったモヤモヤもすっきり！！著者渾身の描き下ろし漫画。ミシマ社創業20周年記念



(本文63頁)

人生ってほぼ中年。
その長い時間を笑って
進む、その“全て”が詰まった名作

(三島邦弘)

次の一冊 益田ミリ『ほしいものはなんですか？』

『ゆっくりポック』

益田ミリ(作)／平澤一平(絵)

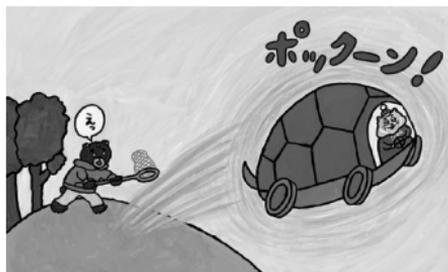
2025年 | 32ページ | 定価1,800円(税別) |

ISBN:978-4-911226-26-1 |

装丁: 脇田あすか



マイペースだけど、ほんとはつよい？ 絵本の世界に新スターあらわれる！『はやくはやくっていわないで』で第58回産経児童出版文化賞を受賞、ロングセラーを記録するコンビが手がける、初のシリーズ絵本が誕生。ミシマ社創業20周年記念



(本文22-23頁)

マイペースと、やるときはやる、
のメリハリが人気者の秘訣

かも。

(佐藤美月)

次の一冊 益田ミリ／平澤一平『はやくはやくっていわないで』

『ちゃぶ台14』

特集：お金、闇夜で元気にまわる』

ミシマ社 編

2025年 | 158ページ | 定価1,800円(税別) |

ISBN: 978-4-911226-27-8 |

装丁：漆原悠一 (tento) | 装画：平澤一平



日経株価が最高値になっても、物価高・米不足は起き、暮らしの経済は疲弊…。生活者が生き生きする、別の「お金のまわり方」が、「闇夜」=ちいさな経済圏に広がっている!?

*

執筆者：益田ミリ／佐藤友則／松村圭一郎／湯澤規子
／高橋久美子／土井善晴／平川克美／垂井綾乃／内田健太郎
／中村明珍／斉藤倫／平澤一平／藤原辰史
／齋藤陽道／榎本俊二／OH! MY BOOKS／古本屋
式拾dB

あの伝説の
ちゃぶ台フェスティバルを
振り返る!

(須賀紘也)

次の一冊

ミシマ社(編)『ちゃぶ台13』

こんにちは！
コラミシマ社です。

ミシマ社は、東京・自由が丘と京都の2拠点で活動する「ちいさな総合出版社」です。書店員さんや読者のみなさまとのやりとりに血を通わせ、多様で豊かな本の世界を次世代へとつなげていくために、書店との直取引（取次を介さない取引）に力を入れています。



京都オフィスには
カメもいます！

昨年、「ミシマ社の本はどこにあるの？」という声にお応えして、直取引で本をお届けいただいている全国の本屋さんを紹介するMAPを制作しました。近所の本屋さん探しに、旅行のおともに、まだ知らないおもしろい書店との出会いに…。ご活用いただけると嬉しいです。

詳細は、下記のURLもしくは
QRコードからご覧ください！

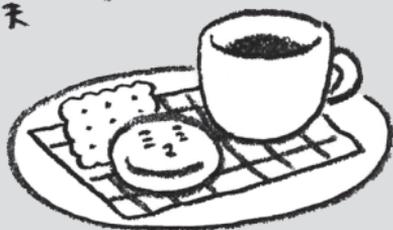


<https://mishimasha.com/bs/>



不安一掃

あなたに
大丈夫



『ダンス・イン・ザ・ファーム
周防大島で坊主と農家と他いろいろ』

中村明珍

2021年 | 304ページ | 定価1,900円(税別) |

ISBN: 978-4-909394-47-7 |

装丁: 漆原悠一 (tento) | 装画: Tim Kerr



都市と田舎、高齢者と子ども、移住者と地元の人…。すべてをまたいで今を生きる、切実でおかしみあふれる日々のはなし。著者は、震災を機に瀬戸内の周防大島に移住。農家、僧侶、宅配、店番、ライブの企画運営など、何足ものわらじを履いて暮らすなかで、40日に及ぶ断水、そしてコロナの流行が起こる。

＊

「人間らしい生活」ができていく感じがする(…)これは何回も言っているんじゃないだろうか。——本文より

明珍さんの人々のグリーヴが
刻まれている一冊。

(星野友里)

次の一冊 白川密成『ボクは坊さん。』

『今日の人生3 いつもの場所で』

益田ミリ

2024年 | 240ページ | 定価1,600円(税別) |

ISBN: 978-4-911226-03-2 |

装丁: 大島依提亜



人生には、何もしなくていい時がある。

ぼんやりしないほうがもったいない。

大人気シリーズ『今日の人生』待望の第3弾。私たちが日々生きていることの証しが詰まった、宝箱のような一冊。「盛岡旅2022 冬」、小説「念のため」、楽しい仕掛けも！



(本文41頁)

止まり木のような本
がなあって思います。



(長谷川実央)

次の一冊 益田ミリ『今日の人生2 世界がどんなに変わっても』

『仲野教授の この座右の銘が効きまっせ!』

仲野徹

2024年 | 256ページ | 定価1,600円(税別) |

ISBN:978-4-911226-01-8 |

装丁: 寄藤文平・垣内晴(文平銀座)



元・阪大医学部教授、『こわいもの知らずの病理学講義』『エピジェネティクス』の著者による、仕事・人生・学問に生かせる〈大きな〉教養。目からウロコの「座右の銘」解説30本。

＊

読み終わった時、きっとあなたも新たなる座右の銘を持ちたくなるはずです。それは、この本で紹介したものでもいいし、他のものでもかまいません。それから、人によっては、今まで抱えてきた座右の銘を、本当にそれでいいのかと吟味しなおす機会になることでしょう。

——「はじめに」より

日月日はまっせ。
いい日になる!

(野崎敬乃)

次の一冊 仲野徹『仲野教授の そろそろ大阪の話をしよう』

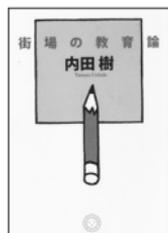
『街場の教育論』

内田樹

2008年 | 296ページ | 定価1,600円(税別) |

ISBN: 978-4-903908-10-6 |

装丁: クラフト・エヴィング商會



「教育には、親も文科省もメディアも要らない」「教師は首尾一貫してはいけない」「日本の教育が『こんなふう』になったのは、われわれ全員が犯人」。学校、教師、親、仕事、宗教…あらゆる教育のとらえ方がまるで変わり、「学び」の本質を見事に言い当てた、驚愕・感動の11講義！

＊

私はとにかく「学校の先生たちが元気になるような本」を書こうと決めていました。どう考えても、教育にかかわる諸問題を解決する主体は、現に教室で子どもたちを前にしている教師たち以外にありません。——「あとがき」より

ミシマ社の教科書。
人生座右の書。

(三島邦弘)

『野生のしっそう』

障害、兄、そして人類学とともに』

猪瀬浩平

2023年 | 304ページ | 定価2,400円(税別) |

ISBN: 978-4-909394-96-5 |

装丁: 脇田あすか | 装画・挿画: 岡田喜之



2021年3月、コロナの感染拡大による緊急感が高まるなか、兄は突然しっそうする。どこへ向かったのか？なぜしっそうしたのか？ その道筋を辿りながら見えてきたのは、兄の「たたかわない」術だった。「障害とともにある人類学」から始まり、「内なる他者」を対象とした人類学へと展開する、実践の書。

＊

ほんとうに重要なのは始点と終点ではない。その途中にあることだ。——本文より

「誰かと一緒に生きるってどうなの？
しっそうの旅は「はじめに」から
一気に加速！」

(須賀紘也)

次の一冊 松村圭一郎『小さき者たちの』

『ちゃぶ台6』

特集：非常時代を明るく生きる』

ミシマ社 編

2020年 | 190ページ | 定価1,600円(税別) |

ISBN: 978-4-909394-42-2

装丁：漆原悠一 (tento) | 表紙写真：齋藤陽道



リニューアル創刊号！「ミシマ社の雑誌」から「生活者のための総合雑誌」へと装いを一新。気候変動も、感染症も、人類が一度も経験したことのないスケールで起きている。日々を不安に過ごしていたり、モヤモヤから抜けられずにいる多くの生活者たちに届けたい一誌。

＊

執筆者：益田ミリ／土井善晴／藤原辰史／松村圭一郎
／町屋良平／中村明珍／齋藤陽道／平川克美／渡邊麻里子（タルマーリー）／猪瀬浩平／前田エマ／高橋久美子／中田兼介／木村俊介／坂上陽子（「文藝」編集長）／榎本俊二／春日太一／内田健太郎

心の風通しがよくなります。

（山田真生）

次の一冊

中田兼介『もえる！いきもののりくつ』

『ちゃぶ台8』

特集：「さびしい」が、ひっくり返る』

ミシマ社 編

2021年 | 200ページ | 定価1,700円(税別) |

ISBN:978-4-909394-60-6 |

装丁: 漆原悠一(tento) | 装画: 榎本俊二



長引く行動の自粛。先行きの見えない商売。ストレス発散もままならぬ日々。仕事や日常生活でつのが「さびしさ」をひっくり返してみたら…どんなことが起こるだろうか。ミシマ社創業15周年記念号

*

執筆者：益田ミリ／津村記久子／三好愛／斉藤倫／村瀬孝生／松村圭一郎／工藤律子／藤原辰史／齋藤陽道／榎本俊二／滝口悠生／内田健太郎／土井善晴／寄藤文平／中村明珍／中島岳志／辻山良雄／平澤一平／井戸書店／曲線／本屋・生活綴方／須山奈津希

「パンドミックでみんなさびしかった
あのころに生まれました。
個人的に文芸作品女子には
お薦めです。」

(須賀紘也)

次の一冊 松村圭一郎『くらしのアナキズム』

全 健 体 身



『自分と他人の許し方、あるいは 愛し方』

三砂ちづる

2020年 | 224ページ | 定価1,700円(税別) |

ISBN:978-4-909394-37-8 |

装丁: 漆原悠一(tento) | 装画: 朝野ペコ



女性が歳を重ねて生きる、それは「喜び」のほかない。恋愛、結婚、出産、更年期…。今ではほとんど語られなくなった、人類の深い知恵をもう一度。酸い甘い、古今東西、人の生き死に。越境する思考が、先が見えない時代の足元を照らす。

＊

闘わねばならないものがあるとしたら、自己憐憫と罪悪感だけ。叱られてきたあなたを、自分で許すだけ。自分を許し、人をほめる。——「エピローグ」より

エピローグの原稿が届いた
ときの衝撃、忘れません。

(星野友里)

次の一冊 星野概念『ないようである、かもしれない』

『元気じゃないけど、悪くない』

青山ゆみこ

2024年 | 248ページ | 定価1,900円(税別) |

ISBN: 978-4-911226-02-5 |

装丁: 名久井直子 | 装画・挿画・題字: 細川貂々



50歳の急カーブ、愛猫との別れ、不安障害、めまい、酒や家族との関係…わけのわからない不調のどん底から、リハビリが始まった——。「わたしの心と身体」の変化をめぐる、物語のようなノンフィクションであり、ケアの実践書。

*

「死にたい」と思うほどの状態から、「これなら生きていてもいいかも」と思える状態になるまでの心身のリハビリについて書いてきたのだと、書き終えてわかった気がした。
—— 本文より

いま私は30代ですが
40代、50代と人生が流れていくなかで、
「ケンナイ本」があって本当によかったと思います。
(本書)

(角智春)

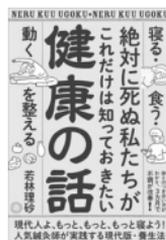
次の一冊 青山ゆみこ『ほんのちょっと当事者』

『絶対に死ぬ私たちがこれだけは知っておきたい健康の話
「寝る・食う・動く」を整える』 若林理砂

2018年 | 192ページ | 定価1,600円(税別) |

ISBN:978-4-909394-11-8 |

装丁:佐藤亜沙美 | 装画・挿画:朝野ペコ



現代人よ、もっと、もっと、もっと寝よう！ 体とのつき合い方がわかり、3カ月で不調が改善。人気鍼灸師が実践する現代版・養生法。寝る時間は、3重の締め切りを設定して死守する／食事の半分は野菜を食べる／運動は、約7分のラジオ体操だけでいい…具体的なアドバイスが満載。

*

休養をとること。適切なときに適切に休めるかどうか。これは、人生を楽しく生きて死ぬために、本当に大切なことなのです。—— 本文より

ミシマ社一同、この本に
たいぶ助けられています。

(星野友里)

次の一冊 若林理砂『謎の症状』

『スポーツ3.0』

平尾剛

2023年 | 216ページ | 定価2,000円(税別) |

ISBN: 978-4-909394-92-7 |

装丁: 寄藤文平・垣内晴(文平銀座)



勝利至上主義、迷走する体育・部活、暑すぎる夏の甲子園、アスリート・アクティビズム…それでも、もう一度全身で、スポーツを楽しみたい！ そう願うすべての人へ。元アスリートとして、声を上げつづけてきた著者の到達点がここに。

＊

「3.0」は、根性と科学の融合となる。レジリエンスとしての根性を認め、心技体の心得に再び息を吹き込まなければならぬ。—— 本文より

体育の時間にもっと耳をかいていた
小中学生の頃の自分に渡してあげたい

(角智春)

『時代劇聖地巡礼』

春日太一

2021年 | 256ページ | 定価1,800円(税別) |

ISBN:978-4-909394-50-7 |

装丁:尾原史和(BOOTLEG) | 写真:来間孝司



あの江戸の景色は京都にあり。時代劇研究家が京都・滋賀のロケ地41カ所を実際に巡り、うなり、歓喜し、記した文と写真。時代劇ファン垂涎の一冊。

*

時代劇のロケ地を訪ねることで、作中の世界に浸れるだけでなく、現代からタイムスリップした感覚になる。これは、時代劇ファンならずともたまらないことです。

——「はじめに」より

時間と空間を超えた
旅をお楽しみください!

(山田真生)

次の一冊 春日太一『時代劇聖地巡礼 関西ディープ編』

『ちゃぶ台13 特集:三十年後』

ミシマ社 編

2024年 | 192ページ | 定価1,800円(税別) |

ISBN: 978-4-911226-11-7 |

装丁: 漆原悠一(tento) | 装画: ミロコマチコ



大地震、地球沸騰化、食糧危機、生物種激減…こうした事態が確実に起こっている、三十年後。不安ばかりが先行するが、今、私たちは何をどう考えていけばいいのだろうか？

*

執筆者：益田ミリ／松村圭一郎／万城目学／土井善晴
／佐藤ゆき乃／上田誠／白川密成／猪瀬浩平／三浦
豊／宮田正樹／中村明珍／内田健太郎／伊藤亜紗／
斉藤倫／齋藤陽道／榎本俊二／藤原辰史／平澤一平
／尾崎世界観／寄藤文平／本灯社／ほなび

とにかくみんなが様々な視点
から具体的に三十年後と
考えているのがすごい号です！

(須賀紘也)

次の一冊

最相葉月／瀬名秀明『未来への周遊券』

「みんなのミシマガジン」って？

「みんなのミシマガジン」（通称：ミシマガ）は、ミシマ社が運営するウェブ雑誌です。「『おもしろい』を1日1本」をモットーに、2008年から発信をつづけています。多様な執筆陣による連載、ミシマガ編集部による特集記事、ミシマ社メンバーが日々を綴る「昨日のひとこと」、本の紹介コーナー「明日の一冊」など、今お届けしたい情報を、思いを込めてお知らせしています。

ミシマ社から刊行する本のなかには、ミシマガの連載がもとになっているものも多数あります。もしかしたらミシマガは、本になる前の、より「生」に近い言葉が集まっている場所とも言えるかもしれません。



新連載も続々とスタートしました。石井美保「島の底、風のしるし～戦争を聞き継ぐ人類学」、有松遼一「舞台の上でみる夢は」、若林理砂「人生に効く！医学古典の知恵」、藤原辰史「民論」、本原令子「キッチン・ストーリー」、最相葉月「ギ

ター熱」、内田健太郎「ミツパチの未来の選び方」、高橋久美子「変な人にはついていけ」、湯澤規子「ユザワタヌキ文庫へようこそ」…ぜひ今後のミシマガにもご注目ください！

平日に毎日読みものを更新しています。最新情報は、下記の URL もしくは右の QR コードからご覧くださいませ！



<https://www.mishimaga.com>

盛 繁 志 高

信頼と



信者
けることと

『小商いのすすめ』

「経済成長」から「縮小均衡」の時代へ』

平川克美

2012年 | 231ページ | 定価1,600円(税別) |

ISBN:978-4-903908-32-8 |

装丁:クラフト・エヴィング商會



経済成長なしでもやっていける社会のあり方として提示する「小商いの哲学」。短期的ではなく長期的な視点での復興策を、血の通った言葉で書きつづった感動的な論考！

＊

身の回りの人間的なちいさな問題を、自らの責任において引き受けることだけが、この苦境を乗り越える第一歩になる。—— 「はじめに」より

“小高い”トレンドは、本書から
始まった！2026年、今こそ読みたい

(三島邦弘)

次の一冊 平川克美『21世紀の楕円幻想論』

『ピッツァ職人』

井川直子

2023年 | 272ページ | 定価2,000円(税別) |

ISBN: 978-4-909394-87-3 |

装丁: 尾原史和 (BOOTLEG)



「ピザ」しかなかった国で、「ピッツァ」を焼く——。本場ナポリの薫陶、庶民のソウルフードを焼く誇り、生地と窯に没頭する境地。職人たちの生き様に、12年越しで迫った、圧巻のノンフィクション。

＊

この職人は、上手に作ろうとしていない気がした。たとえるなら日本人が正確に話そうとするイタリア語ではなく、感情や思考から自在に引き出すネイティブなイタリア語、という感じのピッツァ。—— 本文より

「本気になれる」のは
決して特別な人だけじゃない

(山田真生)

次の一冊 井川直子『シェフを「つづける」ということ』

『思いがけず利他』

中島岳志

2021年 | 184ページ | 定価1,600円(税別) |

ISBN: 978-4-909394-59-0 |

装丁: 矢萩多聞 | 装画: 丹野杏香



誰かのためになる瞬間は、いつも偶然に、未来からやってくる——。東京工業大学で「利他プロジェクト」を立ち上げ、『利他とは何か』『料理と利他』などで刺激的な議論を展開する筆者、待望の単著。今、「他者と共にあること」を問うすべての人へ。

＊

今の私が、今の状態にあることは「たまたま」である。様々な縁が重なり合い、偶然手にしているのが、私の境遇である。——本文より

私は善い人間か？ 言語の役に立ってる？
という自問がはじまってしまったとき、
この本を思い出すようにしています。

(角智春)

次の一冊 土井善晴／中島岳志『料理と利他』

『善き書店員』

木村俊介

2013年 | 344ページ | 定価1,800円(税別) |

ISBN: 978-4-903908-46-5 |

装丁: 寄藤文平・鈴木千佳子(文平銀座)

善き書店員 木村俊介

「みんなが善き書店員に憧れるようにしたい」という思いで、この時代
に於いて善き書店員になるには何をすればいいのか、木村俊介
インタビューをしながら書いた著書が、見つけた。書店員
に働く人たちが大切にしている「善き」の定義が、
読むたびに心に残る。その定義が、

この時代において「善く」働くとはなにか？ 500人超のインタビューをしてきた著者が、現役書店員6名へのロングインタビューを敢行。その肉声の中から探し、見つけ、考えた、体を動かし普通に働く人たちが大事にするようになる「善さ」とは――。

＊

いまの働く日本人にとって「これはあなたの悩みや思いでもあるかもしれないですよ」といいたくなるような声がたくさん聞こえてきて取材に夢中になったのである。

—— 本文より

耳を澄ませて読んでいくと
その人の声が聞こえてきます。

(三島邦弘)

次の一冊

久住邦晴『奇跡の本屋をつくりたい』

『ミシマ社の雑誌 ちゃぶ台
「移住×仕事」号』

ミシマ社 編

2015年 | 176ページ | 定価1,500円(税別) |

ISBN:978-4-903908-67-0 |

装丁: 矢萩多聞



ミシマ社初の雑誌、創刊！ お金にも政治家にも操られることなく、自分たちの手で、自分たちの生活、自分たちの時代をつくる。そんな、生まれつつある「未来のちいさな形」を、「移住」「仕事（今までにない就活）」「農業」という切り口から追う。台割を作らないという、前代未聞の作り方にも挑戦！ 新しい時代の空気を新しい編集法によってつかみ取った、未来の幕開けを予感させる一冊。

*

特集1 移住のすすめ

特集2 今までにない就活

最初から最後まで
読み通したくなる雑誌です。

(三島邦弘)

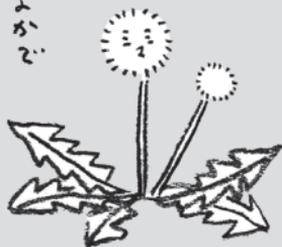
次の一冊 中村明珍『ダンス・イン・ザ・ファーム』(P.20)



災厄消除



地球環境が
変わるよかぞ



『青い星、此処で僕らは何をしようか』

後藤正文／藤原辰史

2024年 | 224ページ | 定価1,800円(税別) |

ISBN:978-4-911226-13-1 |

装丁:名久井直子 | 表紙写真:濱田英明



ミュージシャンと歴史学者。偶然、同年同日に生まれた2人が邂逅し、生年日の新聞を読むことから対話を始めた——。そして映画を共に観て、フィールドに立ち、丹念に学びながら探った、自分たちの時代の「抗い方」。同時代を生きる人たち共鳴必至の一冊。

＊

生産や消費の多寡ではなく、分解が大事なのだというような発想で、未来について考えたい。伸び代はきっといくらでもあるし、何かを損なうことなく、僕らは豊かになれると思う。根拠はない。けれども、そう真剣に信じている。—— 後藤正文(本文より)

「ミュージシャン」×「歴史学者」
2人の化学反応が生み出す、抗い方
のヒントとなる一冊。

(西川和希)

次の一冊 渡邊格・麻里子『菌の声を聴け』

『偶然の散歩』

森田真生

2022年 | 240ページ | 定価2,000円(税別) |

ISBN: 978-4-909394-74-3 |

装丁: 寄藤文平(文平銀座)



思索、数学、子供との時間、今という瞬間…偶然の日々の中で一度きりのすぐ近くにある、永遠をつかみたい——。その思いを胸につづられ、あふれでてきた、詩のような言葉たち。著者に訪れた大きな変化の感覚が息づくエッセイ集。

*

二度とないこの日が、今日もみなさんにとって、たくさんの不思議と驚きにみちたものであることを願っている。
—— 本文より

毎月一篇ずつ読むのが
ほんとうにおすすめてです。
新しい風が自分に入ります。

(角智春)

『バンド』

クリープハイプ(著) / 木村俊介(聞き手)

2019年 | 376ページ | 定価1,900円(税別) |

ISBN: 978-4-909394-27-9 |

装丁: 寄藤文平・古屋郁美(文平銀座)



2019年11月16日、現メンバーによるバンド結成10周年を迎えたクリープハイプ。小泉拓(ドラム)、長谷川カオナシ(ベース)、小川幸慈(ギター)、そしてフロントマンの尾崎世界観。メンバー4人が初めて怒涛の10年を語り尽くす。この時代に何かを表現すること、表現を生業にすること、チームで何かをおこなうこと、こうしたもの「すべて」に迫る、唯一無二のノンフィクション。

*

このバンドを小さな会社だと思っている。——尾崎世界観「まえがき」より

4人の声が楽器のように共振する。
400ページのいき読みの面白さ…!

(三島邦弘)

次の一冊 木村俊介『インタビュー』

『わたしの農継ぎ』

高橋久美子

2024年 | 240ページ | 定価1,800円(税別) |

ISBN: 978-4-911226-09-4 |

装丁: 鈴木千佳子



稼ぐためではなく、風景や知恵や種を、受け継ぐために——。地元(愛媛)では農、東京では作家。チームで畑をして、ときにバンド活動も。新しい農のかたちを模索した日々がここに。農業にかぎらず、あらゆる分野で継承の問題に奮闘する方たちへ贈る一冊。

＊

私たちのように職は別に持ち、自給自足+αを目指して活動する農家が、もっといてもいいはずだ。そして、やれなくないよ、ここに記したい。——本文より

農をやること、豊かさを、大変な、
楽は、やるせなくて…語るまで。

(星野友里)

次の一冊 内田健太郎『極楽よのう』

『共有地をつくる わたしの「実践私有批判」』

平川克美

2022年 | 224ページ | 定価1,800円(税別) |

ISBN:978-4-909394-63-7 |

装丁:クラフト・エヴィング商會



銭湯、食堂、喫茶店、縁側…誰のものでもあり、誰のものでもなく。私有財産なしで、機嫌よく生きてゆくために。「小商い」の終着点を描いた私小説的評論。消費資本主義がいよいよ行き詰まる中、「小商いの哲学」を実践するすべての人に贈る一冊。

＊

わたしたちは「私有」を増やすことで、失うことへの恐怖も増やしていると言えるのではないのでしょうか。

——本文より

やっほ
「世の中、金なのか...?」
の向こうに小さな火灯

(長谷川実央)

次の一冊 中島岳志／若松英輔『現代の超克』

『ちゃぶ台7』

特集：ふれる、もれる、すくわれる』

ミシマ社 編

2021年 | 188ページ | 定価1,700円(税別) |

ISBN: 978-4-909394-52-1 |

装丁: 漆原悠一 (tento)



他者との「ふれる」は禁じられ、ルールから「もれる」ことは許されず、「すくい」のない世になりつつある。コロナ以前とは違う「ふれる」「もれる」をつくり直すこと。その先に初めて「救われる」が待っているのではないか。そんな思いとともに企画した一冊。

*

執筆者：後藤美月／津村記久子／伊藤亜紗／藤原辰史／尾崎世界観／渡邊格・麻里子 (タルマリー)／寄藤文平／土井善晴／内田健太郎／益田ミリ／平澤一平／村上慧／齋藤陽道／中村明珍／宮田正樹／榎本俊二／松村圭一郎／前田エマ／光用千春／スロウな本屋／本屋と活版印刷所／REWIND

「わりやめさからニほゆるもの7:30」
ここには言葉を尽くして
残さぬといえぬ。

(野崎敬乃)

次の一冊 藤原辰史『縁食論』

『ちゃぶ台9』

特集：書店、再び共有地』

ミシマ社 編

2022年 | 208ページ | 定価1,800円(税別) |

ISBN:978-4-909394-67-5 |

装丁：漆原悠一(tento) | 装画：後藤美月



現代に生きる「共有地」たりうる本屋さんを渾身取材！

*

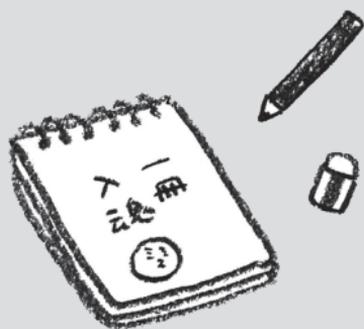
執筆者：益田ミリ／平川克美／辻山良雄／Seesaw Books／ブックカフェ フルハウス／栞日／Antenna Books & Cafe ココシバ／ポルベニールブックストア／ブックハウス ひびうた／毎日食堂 MAINICHI STORE／ウィー東城店／汽水空港／うなぎBOOKS 旧塚本邸／津村記久子／三好愛／中村明珍／尾崎世界観／内田健太郎／高橋久美子／渡邊麻里子／滝口悠生／齋藤陽道／齊藤倫／前田エマ／土井善晴／榎本俊二／藤原辰史／松村圭一郎／平澤一平／松嶋健／寄藤文平

全国の個性的な本屋さんに掲載。
通いたくなるお店ばかりです。

(西川和希)

次の一冊 平川克美『共有地をつくる』(P.46)

遠上仕事



見えない力を
生かす

『tupera tuperaの アイデアポケット』

tupera tupera

2024年 | 320ページ | 定価1,600円(税別) |

ISBN:978-4-911226-10-0 |

装丁: 寄藤文平・垣内晴(文平銀座)



「主人公」「うんこ」「プレゼント」「おにぎり」「鉛筆」…
75のキーワードを入りに、大人気クリエイティブユニ
ットが創作のコツをたっぷり語ります。工夫と発想で、
仕事も生活もユーモアあふれる日々!

*

中川 すごく良いアイデアが出た時も、アイデアのタネ
(ネタ)を一旦ポケットに入れておきます。

亀山 ポケットからすぐ取り出すタネもあれば、ガサゴソ
探している時に、ぽろっと出てくるタネもある。

二人 何かを考える際のタネや、毎日がちょっとおもしろ
くなるヒントに! — 本文より

ユーモア溢れる
アイデアがぜんじ盛り!!

(西川和希)

次の一冊 tupera tupera『パパパネル』

『ぼけと利他』

伊藤亜紗／村瀬孝生

2022年 | 320ページ | 定価2,400円(税別) |

ISBN: 978-4-909394-75-0 |

装丁: 漆原悠一(tento) | 装画・挿画・題字: おおはしたくま



ぼけは、病気ではない。自分と社会を開くトリガーだ——。ここを出発点に始まった、美学者と「宅老所よりあい」代表の往復書簡。その到着点は…？ 二人の「タマシイのマジ」が響き合った、圧巻の36通。

＊

自分のしたことが本当の意味で相手のためになる、というのは、おそらく私たちが思うよりもずっと不思議で、想定外に満ちた出来事なのでしょう。ほとんど、奇跡だと言ってもいい。——伊藤亜紗「はじめに」より

連載中. どとまで深まるのか
畏れから抱いた一冊.

(星野友里)

次の一冊

ミシマ社(編)『ちゃぶ台11』(P.56)

『映画を撮りながら考えたこと』

是枝裕和

2016年 | 416ページ | 定価2,400円(税別) |

ISBN:978-4-903908-76-2 |

装丁: 寄藤文平・鈴木千佳子(文平銀座)



『誰も知らない』『そして父になる』『海街diary』『海よりもまだ深く』…全作品を振り返り、探った、「この時代に表現しつづける」方法と技術、困難、そして可能性。構想8年の決定版!

*

映画は百年の歴史をその大河にたたえながら悠々と僕の前を流れていた。(…)今自分がつくっているものがはたして本当に映画なのか? という疑いが常にある。しかし、そんな「うしろめたさ」も、そして血のつながりも越えて、素直にその河の一滴になりたいと僕は思ったのだ。

——「あとがきのようなまえがき」より

是枝作品の神髄に迫った、
100年後も表現者たちのバイブル
となっているだろう大著。

(三島邦弘)

次の一冊 想田和弘『観察する男』

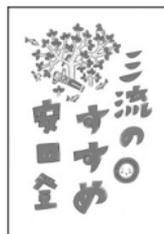
『三流のすすめ』

安田登

2021年 | 256ページ | 定価1,600円(税別) |

ISBN: 978-4-909394-54-5 |

装丁: 寄藤文平・古屋郁美(文平銀座)



三流＝多流 (いろいろなことができる人)。一つに決めない、目標を持たない、天才ではない、ほとんどガマンしない、評価されない…。こうした「ない」が、これからは尊ばれる！ 古典の知恵と鋭い洞察が導く、今を生きるヒント。

*

なにかをめざすなんてことはしない。あるいは苦手。常に「今」が起点。その代わり、「今」の目の前には無限の可能性が広がっています。—— 本文より

人類のほとんどが負け組で変でしょ？
本当は陽気に人生を楽しむのが
得意なはずのあなたに！

(須賀紘也)

次の一冊 ナカムラケンタ『生きるように働く』

『おそろおそろ育休』

西 靖

2023年 | 224ページ | 定価1,700円(税別) |

ISBN:978-4-909394-82-8 |

装丁:佐藤亜沙美 | 装画・挿画:神保賢志



昭和生まれ人気アナ、仕事ひとすじ30年。50歳前にふと思い立って、育休を取ってみました。イライラ、わくわく、七転八起…それでも断言!「たいへんやけどおもろいで」

*

男性が育休を取ったというと、それなりの主義主張やポリシーがあるように思われるかもしれませんが、(…) え、本当に休んでいいの? 給料減るの? 役に立つの? 周りはどう思う? 帰ってきたときに会社に居場所ある? などなど、戸惑いまくりの恐れまくり。(…) 本当に「おそろおそろ」だったのです。——「はじめに」より

西さんが書く家庭円満の極意、
その視点はなかつた!!

(角智春)

次の一冊 釈徹宗『お世話され上手』

『桃を煮るひと』

くどうれいん

2023年 | 136ページ | 定価1,600円(税別) |

ISBN: 978-4-909394-88-0 |

装丁: 脇田あすか



衝撃のデビュー作『わたしを空腹にしないほうがいい』から5年。小説、エッセイ、絵本、児童書、歌集…多方面で活躍する気鋭の作家が、満を持して、2作目の「食エッセイ集」を解禁。

*

牛乳瓶と言われて思い浮かべるのは、懐かしの給食ではなく「瓶ウニ」のことだ。瓶ウニとは初夏からお盆ごろにかけて岩手県のスーパーや鮮魚店などで売られている、牛乳瓶入りのウニである。——本文より

この本で瓶瓦ウニという存在を知り、
初めて盛岡へ行きました。
そいう人。(たがん) 多々又いふはす...

(野崎敬乃)

『ちゃぶ台11』

特集：自分の中にぼけを持って』

ミシマ社 編

2023年 | 196ページ | 定価2,000円(税別) |

ISBN:978-4-909394-89-7 |

装丁：漆原悠一(tento) | 表紙写真：平野愛



世の中は、ピントを合わせる方向に進みすぎている、かも——。生活にも、制度にも、仕事にも、あらゆることに、「ぼけ」が効いてくるのでは？

＊

執筆者：村瀬孝生／益田ミリ／斉藤倫／平野愛／津村記久子／土井善晴／上田誠／バッキー井上／伊藤亜紗／若林理砂／平澤一平／藤原辰史／齋藤陽道／榎本俊二／山極壽一／尾崎世界観／内田健太郎／恭文堂書店／句読点／中村明珍／滝口悠生／寄藤文平

日々には疲れた時、ちょっと負持てが
楽になる一冊です。

(西川和希)

次の一冊 伊藤亜紗／村瀬孝生『ぼけと利他』(P.51)

文学一番

生きた言叶を



身に収める

『味つけはせんでええんです』

土井善晴

2023年 | 208ページ | 定価1,600円(税別) |

ISBN:978-4-909394-94-1 |

装丁:漆原悠一(tento) | 装画:鈴木康広



「なにもしない」料理が、地球と私とあなたを救う。AIの発達、環境危機、経済至上主義…基準なき時代をどう生きるか？ 人間とは、自由とは、幸せとは。「料理」を入口に考察した、一生ものの雑文集。

＊

本来、料理は自分の人生から生まれてくるものです。それがあなたの料理です。つたなくっても、自信がなくっても、私はいいと思います。「味つけせんでええ」というのは、それを大切にすることだと思っているのです。

——「まえがき」より

料理をすることで、あなたと、
そして地球と繋がっていく

(山田真生)

次の一冊 土井善晴／中島岳志『ええかげん論』

『母の最終講義』

最相葉月

2024年 | 176ページ | 定価1,800円(税別) |

ISBN: 978-4-909394-99-6 |

装丁: 脇田あすか



あの介護の日々は、母から私への教育だった——。『絶対音感』『星新一』など傑作ノンフィクションの書き手であり、新聞の人生案内も人気な著者の、半生にじみ溢れる名エッセイ集。珠玉の47本。最相葉月デビュー30周年記念企画

*

ひかえめだけど芯の強い自分と、出しゃばりだけど脆い自分は、一人の人間の中に共存している。——本文より

仕事でも、生活でも、もう限界!!
でもまだがんばりたい... という状態に
なるとは、この本を開きまう。

(野崎敬乃)

『ビボウ六』

佐藤ゆき乃

2023年 | 160ページ | 価格1,800円(税別) |

ISBN:978-4-909394-95-8 |

装丁:名久井直子 | 装画:西村ツチカ



怪獣だって恋したい——。現実に絶望する小日向さんと、千年を生きるゴンス。「夜の京都」で出会ってしまった二人の運命の行方は？ 儂くも、淡い希望が揺れては浮かぶ、新世代のファンタジー。第3回京都文学賞受賞作

＊

本当の意味で自分のことを愛し尽くせるのは、自分自身しかいないのです。——本文より

つかい夜、どこかに行きたい夜に。
昼の世界を一時離れて、
この物語に浸り過ぎてほいです。

(角智春)

次の一冊 常盤司郎『最初の晚餐』

『マロン彦の小冒険』

佐藤ジュンコ

2023年 | 256ページ | 価格2,400円(税別) |

ISBN: 978-4-909394-93-4 |

装丁: 鈴木千佳子



特別なことはせず、まっとうに精一杯、生きる。

著者の分身ともいえるマロン彦が、ささやかな生活の中で出会う、ちょっとした違和感、コロナや政治の波紋。見過ごさず、立ち止まり、祈り、歩んだ日々。5年分の「小さな祈りと選択」を描いた、著者新境地のコミックエッセイ。

*

大事なものはちょっとでいいんだねえ。—— 本文より

マロン彦はちょっと弱むに見えて
じつはとっても芯が強いと思う。

(星野友里)

次の一冊

佐藤ジュンコ『佐藤ジュンコのおなか福福日記』

『つたなさの方へ』

那須耕介

2022年 | 104ページ | 価格2,200円(税別) |

ISBN:978-4-909394-73-6 |

装丁:クラフト・エヴィング商會



余計なこと、みにくさ、へり、根拠のない楽観…法哲学という学問の世界に身を置きながら、「余白」に宿る可能性を希求しつづけた人が、余命のなかで静かな熱とともに残した随筆15篇。

＊

最もよく遊んだ人を、ほめたたえよう。余計なことへの捨て身のうちこみが、私たちの生活になくてはならない手ごたえと手触りを与えている。—— 本文より

那須さんが今生きていて
くれたら…。"知"のあり方を
静かに教えてくれる傑作。

(三島邦弘)

次の一冊 吉田篤弘『京都で考えた』

『小田嶋隆のコラムの向こう側』

小田嶋隆

2022年 | 256ページ | 定価1,800円(税別) |

ISBN: 978-4-909394-70-5 |

装丁: 尾原史和 (BOOTLEG)



「書くことがない」という書き出しの伝説コラム、親友へ捧げる詩、「晩年は誰のものでもない」、自らの病について、など人間オダジマがあふれる作品から、フェミニズム、嫌酒権、ウクライナへの思い…生前最後の一本を含む社会派コラムまで、コロナ下に書かれた18本を厳選。稀代のコラムニストの遺稿集にして傑作コラム集。

*

小田嶋さんのラスト・コラム・ブック。くりかえしくりかえし、楽しんでいただけましたら幸いです。

—— 三島邦弘

お亡くなりになる4日前、絞り出すように「コラムの向こう側」と自らタイトルを決められたのでした。

(三島邦弘)

次の一冊

小田嶋隆『上を向いてアルコール』

『ちやぶ台10』

特集：母語ボゴボゴ、土っ！』

ミシマ社 編

2022年 | 184ページ | 定価1,800円(税別) |

ISBN:978-4-909394-80-4 |

装丁：漆原悠一(tento) | 装画：益田ミリ



国家や学校からあたえられた「母国語」ではなく、もっとのびやかで、固有の、血の通ったことば、「母語」の力を信じて――。

*

執筆者：益田ミリ／ウスビ・サコ／津村記久子／伊藤亜紗／三好愛／斉藤倫／いしいしんじ／齋藤陽道／土井善晴／榎本俊二／藤原辰史／平澤一平／SANJO PUBLISHING／本屋ルヌガンガ／中村明珍／宮田正樹／滝口悠生／内田健太郎／寄藤文平

母語はいつじゃない？寝言ならぬ
寝手話がある？母語、てなみみ下う。
ちやぶ台史上に残る迷行人に注目！

(須賀紘也)

次の一冊 河野通和『言葉はこうして生き残った』



平和祈願



戦争のつらい
世界を
働かため



『中学生から知りたい ウクライナのこと』

小山哲／藤原辰史

2022年 | 208ページ | 定価1,600円(税別) |

ISBN:978-4-909394-71-2 |

装丁: 寄藤文平・古屋郁美(文平銀座)



黒土地帯、第二次ポーランド分割、コサック…地理や世界史の教科書にも載っているこうした言葉に血を通わせる。「ウクライナを知る」第一歩はここからはじまる。二人の歴史学者が意を決しておこなった講義・対談を完全再現。緊急発刊!

*

歴史を研究する職種の資格は、「忘れない執念」ただひとつだと、私は信じています。

——藤原辰史「はじめに」より

ニュースに「胸がざわつくときほど、
「何も知らない」という前提から学ぶ
ことが大切だと教えてもらいました。

(角智春)

次の一冊

岡真理／小山哲／藤原辰史『中学生から知りたいパレスチナのこと』(P.67)

『中学生から知りたい パレスチナのこと』

岡真理／小山哲／藤原辰史

2024年 | 224ページ | 定価1,800円(税別) |

ISBN: 978-4-911226-06-3 |

装丁: 寄藤文平・垣内晴(文平銀座)



あらゆる人が戦争と自分を結びつけ、歴史に出会い直すために。アラブ、ポーランド、ドイツを専門とする三人の対話からはじめて浮かび上がる「パレスチナ問題」。この本から始まる、新しい世界史＝「生きるための世界史」

＊

今、必要としているのは、近代500年の歴史を通して形成された「歴史の地脈」によって、この現代世界を理解するための「グローバル・ヒストリー」です

——岡真理(本文より)

研究者3人が自らの専門を
真摯に反省し、「これから」を
模索した。三鬼の一冊。

(三島邦弘)

次の一冊 内藤正典『となりのイスラム』

『ゆめがきました』

三好愛

2024年 | 32ページ | 定価2,000円(税別) |

ISBN:978-4-911226-12-4 |

装丁:大島依提亜



とらえどころのない気持ちや経験を見事にイラストにし、エッセイにも注目が集まる作家が描く初の絵本。寝ているひとたちみんなのところに「ゆめ」はきました。「よぞらでゼリーをたべるゆめ」「おかあさんがふえるゆめ」「ねごとおんせんにいくゆめ」…おやすみ絵本に、あらたな傑作。



(本文6-7頁)

きてほしいゆめを想像したり、
誰かと話したり... この本からはいま
世界がととも愉快でたのしいです。
(野崎敬乃)

次の一冊 きくちちき『ゆきのゆきちゃん』

『みんなたいぼ』

マヒトゥ・ザ・ピーポー(文)／荒井良二(絵)

2023年 | 32ページ | 定価2,000円(税別) |

ISBN: 978-4-909394-83-5 |

装丁: 名久井直子



GEZANのフロントマン、マヒトゥ・ザ・ピーポーと国内外で注目を集め続ける絵本作家、荒井良二による、初のコラボレーション絵本。貧困、差別、孤独…現代のさまざまな境界を揺るがし受け止める一冊。



(本文8-9頁)

大人の人たちにこそ、
読んでほしい絵本で。

(野崎敬乃)

次の一冊

ミロコマチコ『みえないりゅう』

『ちやぶ台12』

特集：捨てない、できるだけ』

ミシマ社 編

2023年 | 164ページ | 定価1,800円(税別) |

ISBN: 978-4-909394-98-9 |

装丁: 漆原悠一 (tento)



捨てない生活、仕事、商売は、できる？ 地球環境が「九回裏」の状況にある今、ゴミ処理最前線の町と本づくりの現場から探る！

*

執筆者：藤原辰史／土井善晴／大塚桃奈／益田ミリ／津村記久子／伊藤亜紗／平尾剛／中野遼太郎／斉藤倫／齋藤陽道／シナノ印刷／平澤一平／内田健太郎／榎本俊二／Books & Cafeコトウ／ReBuilding Center JAPAN／中村明珍／バッキー井上／寄藤文平

「捨てる」ってゴミだけの話？
地球に生きる、ってどういうこと??

(長谷川実央)

次の一冊 バッキー井上『残念こそ俺のご馳走。』

刊行書籍一覧

※価格は税別表記です
※2025.10.1時点の情報です

僅少=在庫僅少・増刷予定なし 電=電子書籍あり ㊦=オーディオブックあり

2006年 … WAVE出版より発売

『本当は知らなかった日本のこと』鳥越俊太郎／しりあがり寿
四六判195頁 | 2006.12 | 978-4-87290-287-7 | 1,500円

『頭がよくなる立体思考法 RIFの法則』香山リカ
四六判190頁 | 2007.2 | 978-4-87290-291-4 | 1,300円

2007年 … 以降、自社より発売

『街場の中国論』内田樹
四六判248頁 | 2007.6 | 978-4-903908-00-7 | 1,600円

『仕事で遊ぶナンバ術 疲れをしらない働き方』
矢野龍彦／長谷川智
四六判208頁 | 2007.6 | 978-4-903908-01-4 | 1,500円

僅少 電

『アマチュア論。』勢古浩爾
四六判240頁 | 2007.8 | 978-4-903908-02-1 | 1,600円

電

『病気にならないための時間医学 〈生体時計の神秘〉を科学
する』大塚邦明
四六判278頁 | 2007.11 | 978-4-903908-03-8 | 2,200円

電

2008年

『やる気! 攻略本 自分と周りの「物語」を知り、モチベーションと
うまくつきあう』金井壽宏
四六判変形304頁 | 2008.2 | 978-4-903908-04-5 | 1,500円

『謎の会社、世界を変える。 エニグモの挑戦』

須田将啓／田中禎人

四六判248頁 | 2008.3 | 978-4-903908-05-2 | 1,600円

僅少 (オ)

『12歳からのインターネット ウェブとのつきあい方を学ぶ36の質問』荻上チキ

四六判変形128頁 | 2008.6 | 978-4-903908-06-9 | 1,200円

『ナンバ式! 元気生活 疲れをしらない生活術』

矢野龍彦／長谷川智

四六判224頁 | 2008.7 | 978-4-903908-07-6 | 1,500円

電

『みんなのプロレス』斎藤文彦

四六判560頁 | 2008.10 | 978-4-903908-09-0 | 2,800円

『街場の教育論』内田樹

四六判296頁 | 2008.11 | 978-4-903908-10-6 | 1,600円

電 (オ)

『東京お祭り! 大事典 毎日使える大江戸歳時記』井上一馬

A5判216頁 | 2008.12 | 978-4-903908-11-3 | 1,600円

2009年

『文章は写経のように書くのがいい』香山リカ

四六判208頁 | 2009.3 | 978-4-903908-12-0 | 1,500円

『海岸線の歴史』松本健一

四六判259頁 | 2009.5 | 978-4-903908-08-3 | 1,800円

『脱「ひとり勝ち」文明論』清水浩

四六判197頁 | 2009.6 | 978-4-903908-13-7 | 1,500円

『〈貧乏〉のススメ』齋藤孝

四六判223頁 | 2009.9 | 978-4-903908-14-4 | 1,500円

電

『超訳 古事記』鎌田東二

四六判199頁 | 2009.10 | 978-4-903908-15-1 | 1,600円

僅少 電 才

2010年

『ボクは坊さん。』白川密成

四六判285頁 | 2010.1 | 978-4-903908-16-8 | 1,600円

電

『未来への周遊券』最相葉月／瀬名秀明

四六判187頁 | 2010.2 | 978-4-903908-17-5 | 1,500円

電

『ほしいものはなんですか?』益田ミリ

A5判128頁 | 2010.4 | 978-4-903908-18-2 | 1,200円

『ドンマイ ドンマイッ! プロレスラー三沢からのメッセージ』

三沢光晴

四六判256頁 | 2010.6 | 978-4-903908-19-9 | 1,500円

『遊牧夫婦』近藤雄生

四六判341頁 | 2010.7 | 978-4-903908-20-5 | 1,600円

『はやくはやくっていわないで』

益田ミリ(作)／平澤一平(絵)

210(横)×260(縦)54頁 | 2010.10 | 978-4-903908-21-2 | 1,500円

『書いて生きていく プロ文章論』上阪徹

四六判320頁 | 2010.12 | 978-4-903908-23-6 | 1,600円

電

2011年

『逆行』尾原史和

四六判216頁 | 2011.1 | 978-4-903908-24-3 | 1,600円

電

『増補版 街場の中国論』内田樹

四六判352頁 | 2011.2 | 978-4-903908-25-0 | 1,600円



『自由が丘3丁目 白山米店のやさしいごはん』

白山米店お母さん (寿松木衣映)

B5判96頁 | 2011.3 | 978-4-903908-26-7 | 1,600円



『創発的破壊 未来をつくるイノベーション』米倉誠一郎

四六判292頁 | 2011.6 | 978-4-903908-27-4 | 1,700円

『いま、地方で生きるということ』西村佳哲

四六判280頁 | 2011.8 | 978-4-903908-28-1 | 1,700円

『だいじな だいじな ぼくのはこ』

益田ミリ (作) / 平澤一平 (絵)

174 (横) × 214 (縦) 38頁 | 2011.9 | 978-4-903908-29-8 | 1,500円

『中国でお尻を手術。 遊牧夫婦、アジアに行く』近藤雄生

四六判333頁 | 2011.10 | 978-4-903908-30-4 | 1,600円

『透明人間⇄再出発』谷郁雄 (詩) / 青山裕企 (写真)

A5横 (148mm × 206mm) 252頁 | 2011.12 | 978-4-903908-31-1 | 2,500円

2012年

『小商いのすすめ 「経済成長」から「縮小均衡」の時代へ』

平川克美

四六判232頁 | 2012.1 | 978-4-903908-32-8 | 1,600円



『毛のない生活』山口ミルコ

四六判168頁 | 2012.2 | 978-4-903908-33-5 | 1,500円



『海岸線は語る 東日本大震災のあとで』松本健一

四六判224頁 | 2012.3 | 978-4-903908-34-2 | 1,600円

『小田嶋隆のコラム道』小田嶋隆

四六判256頁 | 2012.5 | 978-4-903908-35-9 | 1,500円

電

『街場の文体論』内田樹

四六判304頁 | 2012.7 | 978-4-903908-36-6 | 1,600円

電

『THE BOOKS 365人の本屋さんがどうしても届けたい「この一冊」』
ミシマ社 (編)

四六判変形424頁 | 2012.8 | 978-4-903908-37-3 | 1,500円

『わが家の闘争 韓国人ミリアンの嫁入り』趙美良

四六判256頁 | 2012.9 | 978-4-903908-38-0 | 1,500円

『〈彼女〉の撮り方』青山裕企

四六判変形224頁 | 2012.11 | 978-4-903908-39-7 | 1,700円

『飲み食い世界一の大阪 そして神戸。なのにあなたは
京都へゆく』江弘毅

四六判272頁 | 2012.12 | 978-4-903908-40-3 | 1,600円

電

2013年

『ザ・万字固め』万城目学

四六判248頁 | 2013.2 | 978-4-903908-41-0 | 1,500円

『仕事のお守り』ミシマ社 (編)

小B6判224頁 | 2013.4 | 978-4-903908-42-7 | 1,300円

僅少

『自由が丘の贈り物 私のお店、私の街』ミシマ社 (編)

四六判160頁 | 2013.6 | 978-4-903908-43-4 | 1,500円

僅少

『終わりなき旅の終わり さらば、遊牧夫婦』近藤雄生

四六判336頁 | 2013.8 | 978-4-903908-44-1 | 1,700円

『人生、行きがかりじょう 全部ゆるしてゴキゲンに』
バッキー井上

四六判232頁 | 2013.9 | 978-4-903908-45-8 | 1,500円



『東京ドリーム』Cocco

四六判168頁 | 2013.10 | 978-4-903908-47-2 | 1,500円

『善き書店員』木村俊介

四六判344頁 | 2013.11 | 978-4-903908-46-5 | 1,800円



『あわいの力 「心の時代」の次を生きる』安田登

四六判272頁 | 2013.12 | 978-4-903908-49-6 | 1,700円



2014年

『みちこさん英語をやりなおす am・is・areでつまずいたあなたへ』
益田ミリ

A5判204頁 | 2014.1 | 978-4-903908-50-2 | 1,500円

『逃げない・めげない カイシャ道』藤井大輔

四六判240頁 | 2014.2 | 978-4-903908-51-9 | 1,500円

『健やかに老いるための時間老年学』大塚邦明

四六判264頁 | 2014.4 | 978-4-903908-52-6 | 2,000円



『「消費」をやめる 銭湯経済のすすめ』平川克美

四六判248頁 | 2014.6 | 978-4-903908-53-3 | 1,600円



『現代の超克 本当の「読む」を取り戻す』

中島岳志／若松英輔

四六判248頁 | 2014.8 | 978-4-903908-54-0 | 1,800円



『近くて遠いこの身体』平尾剛

四六判272頁 | 2014.9 | 978-4-903908-55-7 | 1,700円



『街場の戦争論』内田樹

四六判 288頁 | 2014.10 | 978-4-903908-57-1 | 1,600円



『ネコリンピック』益田ミリ(作) / 平澤一平(絵)

B5判変形 32頁 | 2014.12 | 978-4-903908-56-4 | 1,500円

2015年

『シェフを「つづける」ということ』井川直子

四六判 272頁 | 2015.2 | 978-4-903908-58-8 | 1,800円



『THE BOOKS green 365人の本屋さんが中高生に
心から推す「この一冊」』ミシマ社(編)

四六判変形 432頁 | 2015.3 | 978-4-903908-60-1 | 1,500円

『今までにない職業をつくる』甲野善紀

四六判 216頁 | 2015.3 | 978-4-903908-59-5 | 1,600円

『そう書いてあった』益田ミリ

四六判 200頁 | 2015.4 | 978-4-903908-61-8 | 1,500円

『佐藤ジュンコのひとり飯な日々』佐藤ジュンコ

四六判 88頁 | 2015.5 | 978-4-903908-62-5 | 1,000円



『透明の棋士』北野新太

四六判 112頁 | 2015.5 | 978-4-903908-63-2 | 1,000円

『声に出して読みづらいロシア人』松樟太郎

四六判 88頁 | 2015.5 | 978-4-903908-64-9 | 1,000円



『女、今日も仕事する』大瀧純子

四六判 200頁 | 2015.6 | 978-4-903908-65-6 | 1,500円



『坊さん、父になる。』白川密成

四六判240頁 | 2015.9 | 978-4-903908-48-9 | 1,600円

電

『ミシマ社の雑誌 ちゃぶ台「移住×仕事」号』ミシマ社 (編)

四六判176頁 | 2015.10 | 978-4-903908-67-0 | 1,500円

『外国人が見つけたKYOTO グルメ&アート Ki-Yanギャラリーをめぐる』Marta & Ki-Yan

A5判168頁 | 2015.11 | 978-4-903908-68-7 | 1,800円

僅少

『イナンナの冥界下り』安田登

四六判96頁 | 2015.12 | 978-4-903908-70-0 | 1,000円

電

『辛口サイショーの人生案内』最相葉月

四六判96頁 | 2015.12 | 978-4-903908-71-7 | 1,000円

電

『K氏の遠吠え 誰も言わへんから言うときます。』江弘毅

四六判96頁 | 2015.12 | 978-4-903908-72-4 | 1,000円

電

2016年

『観察する男 映画を一本撮るときに、監督が考えること』

想田和弘 / ミシマ社 (編)

四六判264頁 | 2016.1 | 978-4-903908-73-1 | 1,800円

『みんなのミシマガジン×森田真生0号』ミシマ社 (編)

四六判192頁 | 2016.1 | なし (取次不扱い) | 1,800円

『わたしのじてんしゃ』益田ミリ (作) / 平澤一平 (絵)

B5判変形36頁 | 2016.3 | 978-4-903908-74-8 | 1,500円

『関西かくし味』井上理津子

四六判216頁 | 2016.3 | 978-4-903908-69-4 | 1,500円

電

『何んでもオールライトと歌え』後藤正文
四六判 224頁 | 2016.4 | 978-4-903908-75-5 | 1,500円

電

『映画を撮りながら考えたこと』是枝裕和
四六判 416頁 | 2016.6 | 978-4-903908-76-2 | 2,400円

『選んだ理由。』石井ゆかり
小B6判 248頁 | 2016.7 | 978-4-903908-77-9 | 1,400円

電

『となりのイスラム 世界の3人に1人がイスラム教徒になる時代』
内藤正典
四六判 256頁 | 2016.7 | 978-4-903908-78-6 | 1,600円

電 ①

『たもんのインドだもん』矢萩多間
四六判 96頁 | 2016.8 | 978-4-903908-81-6 | 1,000円

『愛と欲望の雑談』雨宮まみ／岸政彦
四六判 96頁 | 2016.8 | 978-4-903908-80-9 | 1,000円

電

『脚本版 ほしいものはなんですか?』益田ミリ
四六判 96頁 | 2016.8 | 978-4-903908-79-3 | 1,000円

『これからの建築 スケッチしながら考えた』光嶋裕介
四六判 248頁 | 2016.9 | 978-4-903908-82-3 | 1,800円

『ヨーロッパ企画の本 我々、こういうものです。』ミシマ社(編)
A5判 176頁 | 2016.9 | 978-4-903908-83-0 | 1,600円

『お世話され上手』釈徹宗
四六判 216頁 | 2016.10 | 978-4-903908-84-7 | 1,600円

電

『ミシマ社の雑誌 ちゃぶ台 Vol.2 革命前々夜号』ミシマ社(編)
四六判 192頁 | 2016.10 | 978-4-903908-85-4 | 1,500円

『家のしごと』山本ふみこ

四六判184頁 | 2016.11 | 978-4-903908-86-1 | 1,500円



『女たちが、なにか、おかしい おせっかい宣言』三砂ちづる

四六判216頁 | 2016.11 | 978-4-903908-87-8 | 1,600円



2017年

『昭和の店に惹かれる理由』井川直子

四六判280頁 | 2017.1 | 978-4-903908-88-5 | 1,900円



『言葉はこうして生き残った』河野通和

四六判360頁 | 2017.1 | 978-4-903908-89-2 | 2,400円



『ウソつきの国』勢古浩爾

四六判256頁 | 2017.2 | 978-4-903908-90-8 | 1,600円



『木のみかた 街を歩こう、森へ行こう』三浦豊

四六判96頁 | 2017.3 | 978-4-903908-91-5 | 1,000円

『大阪的』江弘毅／津村記久子

四六判96頁 | 2017.3 | 978-4-903908-92-2 | 1,000円



『コーヒーと一冊 第1期 全11巻セット』

2017.3 | 978-4-903908-93-9 | 11,000円

『今日の人生』益田ミリ

四六判240頁 | 2017.4 | 978-4-903908-94-6 | 1,500円

『インタビュー』木村俊介

四六判336頁 | 2017.5 | 978-4-903908-96-0 | 2,200円



『おなみだぼいぼい』後藤美月

A4変形32頁 | 2017.6 | 978-4-903908-97-7 | 1,500円

『似合わない服』山口ミルコ

四六判176頁 | 2017.8 | 978-4-903908-95-3 | 1,500円



『うしろめたさの人類学』松村圭一郎

四六判192頁 | 2017.9 | 978-4-903908-98-4 | 1,700円



『京都で考えた』吉田篤弘

四六判変形128頁 | 2017.10 | 978-4-903908-99-1 | 1,500円

『ミシマ社の雑誌 ちゃぶ台 Vol.3 「教育×地元」号』ミシマ社 (編)

四六判184頁 | 2017.10 | 978-4-909394-00-2 | 1,500円

『等身の棋士』北野新太

四六判216頁 | 2017.12 | 978-4-909394-01-9 | 1,600円



2018年

『21世紀の楢円幻想論 その日暮らしの哲学』平川克美

四六判264頁 | 2018.1 | 978-4-909394-02-6 | 1,800円



『上を向いてアルコール 「元アル中」コラムニストの告白』

小田嶋隆

四六判208頁 | 2018.2 | 978-4-909394-03-3 | 1,500円



『日帰り旅行は電車に乗って 関西編』細川貂々

B6判変形240頁 | 2018.3 | 978-4-909394-04-0 | 1,500円



『きんじょ』いしいしんじ

四六判変形232頁 | 2018.5 | 978-4-909394-05-7 | 1,500円



『佐藤ジュンコのおなか福福日記』佐藤ジュンコ

四六判変形208頁 | 2018.5 | 978-4-909394-06-4 | 1,500円



『究極の文字を求めて』松樟太郎

四六判変形184頁 | 2018.5 | 978-4-909394-07-1 | 1,500円



『京をあつめて』丹所千佳

四六判変形168頁 | 2018.5 | 978-4-909394-08-8 | 1,500円



『おむすびのにぎりかた』

宮本しばに(文) / 野口さとこ(写真)

四六判変形168頁 | 2018.5 | 978-4-909394-09-5 | 1,500円



『K氏の大坂弁ブンガク論』江弘毅

四六判256頁 | 2018.6 | 978-4-909394-10-1 | 1,700円



『絶対に死ぬ私たちがこれだけは知っておきたい健康の話

「寝る・食う・動く」を整える』若林理砂

四六判192頁 | 2018.7 | 978-4-909394-11-8 | 1,600円



『奇跡の本屋をつくりたい くすみ書房のオヤジが残したもの』

久住邦晴(くすみ書房・店主)

四六判変形208頁 | 2018.8 | 978-4-909394-12-5 | 1,500円

『生きるように働く』ナカムラケンタ

四六判240頁 | 2018.9 | 978-4-909394-13-2 | 1,800円



『凍った脳みそ』後藤正文

四六判200頁 | 2018.10 | 978-4-909394-14-9 | 1,500円



『ミシマ社の雑誌 ちゃぶ台 Vol.4 「発酵×経済」号』

ミシマ社(編)

四六判208頁 | 2018.10 | 978-4-909394-15-6 | 1,600円

『銀河鉄道の星』

宮沢賢治(原作) / 後藤正文(編) / 牡丹靖佳(絵)

A5判200頁 | 2018.11 | 978-4-909394-16-3 | 1,800円

2019年

『胎児のはなし』最相葉月／増崎英明

四六判 320頁 | 2019.1 | 978-4-909394-17-0 | 1,900円



『イスラムが効く!』内藤正典／中田考

四六判 224頁 | 2019.2 | 978-4-909394-18-7 | 1,600円



『数学の贈り物』森田真生

B6判変形 160頁 | 2019.3 | 978-4-909394-19-4 | 1,600円



『しあわせしりとり』益田ミリ

四六判変形 200頁 | 2019.4 | 978-4-909394-20-0 | 1,500円

『すごい論語』安田登

四六判 248頁 | 2019.5 | 978-4-909394-21-7 | 1,800円



『ホホホ座の反省文』山下賢二／松本伸哉

四六判 208頁 | 2019.6 | 978-4-909394-22-4 | 1,800円



『仲野教授の そろそろ大阪の話をしよう』仲野徹

B6判変形 336頁 | 2019.7 | 978-4-909394-24-8 | 1,900円

『ランベルマイユコーヒー店』オクノ修 (詩)／nakaban (絵)

B5判変形 32頁 | 2019.7 | 978-4-909394-23-1 | 2,200円

『脱・筋トレ思考』平尾剛

四六判 200頁 | 2019.8 | 978-4-909394-25-5 | 1,800円



『クモのイト』中田兼介

四六判 200頁 | 2019.9 | 978-4-909394-26-2 | 1,800円



『バンド』クリープハイプ 聞き手：木村俊介

四六判 376頁 | 2019.10 | 978-4-909394-27-9 | 1,900円

『ミシマ社の雑誌 ちゃぶ台 Vol.5 「宗教×政治」号』

ミシマ社 (編)

四六判 224 頁 | 2019.10 | 978-4-909394-28-6 | 1,600 円

『ほんのちょっとと当事者』青山ゆみこ

四六判 248 頁 | 2019.11 | 978-4-909394-29-3 | 1,600 円



『今夜 凶暴だから わたし』高橋久美子 (詩) / 濱愛子 (絵)

四六判変形 128 頁 | 2019.12 | 978-4-909394-30-9 | 2,400 円

2020 年

『モヤモヤの正体 迷惑とワガママの呪いを解く』尹雄大

四六判 224 頁 | 2020.1 | 978-4-909394-31-6 | 1,800 円



『坊さん、ぼーっとする。 娘たち・仏典・先人と対話したり、
しなかったり』白川密成

四六判 240 頁 | 2020.2 | 978-4-909394-33-0 | 1,700 円



『小田嶋隆のコラムの切り口』小田嶋隆

四六判 200 頁 | 2020.3 | 978-4-909394-32-3 | 1,500 円



『最初の晚餐』常盤司郎

四六判 224 頁 | 2020.3 | 978-4-909394-34-7 | 1,800 円

『今日のガッチャン』益田ミリ (作) / 平澤一平 (絵)

四六判 208 頁 | 2020.4 | 978-4-909394-36-1 | 1,500 円

『自分と他人の許し方、あるいは愛し方』三砂ちづる

四六判変形 224 頁 | 2020.5 | 978-4-909394-37-8 | 1,700 円



『パパパネル』tupera tupera

A3 変形パネル 10 枚 | 2020.6 | 978-4-909394-39-2 | 1,888 円

『ど忘れ書道』いとうせいこう

四六判192頁 | 2020.7 | 978-4-909394-38-5 | 1,600円



『残念こそ俺のご馳走。そして、ベストコラム集』
バッキー井上

四六判200頁 | 2020.8 | 978-4-909394-35-4 | 1,700円



『日本習合論』内田樹

四六判296頁 | 2020.9 | 978-4-909394-40-8 | 1,800円



『今日の人生2 世界がどんなに変わっても』益田ミリ

四六判240頁 | 2020.10 | 978-4-909394-41-5 | 1,500円

『ちゃぶ台6 特集：非常時代を明るく生きる』ミシマ社（編）

四六判変形190頁 | 2020.11 | 978-4-909394-42-2 | 1,600円

『縁食論 孤食と共食のあいだ』藤原辰史

四六判192頁 | 2020.11 | 978-4-909394-43-9 | 1,700円



『岩とからあげをまちがえる』大前粟生

四六判変形216頁 | 2020.12 | 978-4-909394-44-6 | 2,000円

『料理と利他』土井善晴／中島岳志

四六判168頁 | 2020.12 | 978-4-909394-45-3 | 1,500円



2021年

『つくるをひらく』光嶋裕介

四六判224頁 | 2021.1 | 978-4-909394-46-0 | 2,000円



『ないようである、かもしれない 発酵ラブな精神科医の妄言』
星野概念

四六判216頁 | 2021.2 | 978-4-909394-48-4 | 1,700円



『ダンス・イン・ザ・ファーム 周防大島で坊主と農家と他いろいろ』

中村明珍

四六判304頁 | 2021.3 | 978-4-909394-47-7 | 1,900円



『46歳で父になった社会学者』工藤保則

四六判240頁 | 2021.3 | 978-4-909394-49-1 | 1,800円



『時代劇聖地巡礼』春日太一

四六判256頁 | 2021.4 | 978-4-909394-50-7 | 1,800円



『菌の声を聴け タルマーリーのクレイジーで豊かな実践と提案』

渡邊格／麻里子

四六判256頁 | 2021.5 | 978-4-909394-51-4 | 1,800円



『ちゃぶ台7 特集:ふれる、もれる、すくわれる』ミシマ社(編)

四六判変形188頁 | 2021.5 | 978-4-909394-52-1 | 1,700円

『てがみがきたな きししし』網代幸介

A4判32頁 | 2021.6 | 978-4-909394-53-8 | 1,800円

『三流のすすめ』安田登

四六判256頁 | 2021.7 | 978-4-909394-54-5 | 1,600円



『辛口サイショーの人生案内DX』最相葉月

四六判変形160頁 | 2021.8 | 978-4-909394-55-2 | 1,500円



『仲野教授の 笑う門には病なし!』仲野徹

四六判192頁 | 2021.8 | 978-4-909394-56-9 | 1,600円



『くらしのアナキズム』松村圭一郎

四六判240頁 | 2021.9 | 978-4-909394-57-6 | 1,800円



『その農地、私を買います 高橋さん家の次女の乱』

高橋久美子

四六判変形232頁 | 2021.10 | 978-4-909394-58-3 | 1,700円



『思いがけず利他』中島岳志

四六判 184頁 | 2021.10 | 978-4-909394-59-0 | 1,600円



『ちゃぶ台8 ミシマ社創業15周年記念号』ミシマ社(編)

四六判変形 184頁 | 2021.11 | 978-4-909394-60-6 | 1,700円

『みゃーこ湯のトタンくん』スケラッコ

A5判 160頁 | 2021.12 | 978-4-909394-61-3 | 1,500円



2022年

『気のはなし 科学と神秘のはざまを解く』若林理砂

四六判 208頁 | 2022.1 | 978-4-909394-62-0 | 1,700円



『共有地をつくる わたしの「実践私有批判」』平川克美

四六判 224頁 | 2022.2 | 978-4-909394-63-7 | 1,800円



『教えて! タリバンのこと 世界の見かたが変わる緊急講座』

内藤正典

四六判 184頁 | 2022.3 | 978-4-909394-64-4 | 1,700円



『舞台のかすみが晴れるころ』有松遼一

四六判変形 240頁 | 2022.3 | 978-4-909394-65-1 | 2,700円

『書こうとしない「かく」教室』いしいしんじ

四六判 224頁 | 2022.4 | 978-4-909394-66-8 | 1,800円



『ちゃぶ台9 特集:書店、再び共有地』ミシマ社(編)

四六判変形 208頁 | 2022.5 | 978-4-909394-67-5 | 1,800円

『動物になる日』前田エマ

四六判変形 200頁 | 2022.6 | 978-4-909394-68-2 | 2,200円

『中学生から知りたいウクライナのこと』小山哲／藤原辰史

四六判208頁 | 2022.6 | 978-4-909394-71-2 | 1,600円



『ぼんさんの暮らしのはてな?』ウルバノヴィチ香苗

A5判160頁 | 2022.7 | 978-4-909394-69-9 | 1,800円



『もえる!いきものりくつ』中田兼介

四六判224頁 | 2022.7 | 978-4-909394-72-9 | 1,800円



『小田嶋隆のコラムの向こう側』小田嶋隆

四六判256頁 | 2022.8 | 978-4-909394-70-5 | 1,800円



『つたなさの方へ』那須耕介

四六判変形104頁 | 2022.8 | 978-4-909394-73-6 | 2,200円

『偶然の散歩』森田真生

四六判240頁 | 2022.9 | 978-4-909394-74-3 | 2,000円



『ぼけと利他』伊藤亜紗／村瀬孝生

四六判320頁 | 2022.9 | 978-4-909394-75-0 | 2,400円



『ええかげん論』土井善晴／中島岳志

四六判192頁 | 2022.10 | 978-4-909394-76-7 | 1,800円



『よるにおぼけと』みなはむ

A4判32頁 | 2022.10 | 978-4-909394-77-4 | 2,200円

『東京あたふた族』益田ミリ

四六判変形280頁 | 2022.11 | 978-4-909394-79-8 | 1,600円

『ちゃぶ台10 特集:母語ボゴボゴ、土っ!』ミシマ社(編)

四六判変形184頁 | 2022.12 | 978-4-909394-80-4 | 1,800円

2023年

『幸せに長生きするための今週のメニュー』

ロビン・ロイド(詩)／中川学(絵)

A5判変形 104頁 | 2023.1 | 978-4-909394-78-1 | 2,500円

『小さき者たちの』松村圭一郎

四六判変形 208頁 | 2023.1 | 978-4-909394-81-1 | 1,800円



『おそろおそろ育休』西 靖

四六判 224頁 | 2023.2 | 978-4-909394-82-8 | 1,700円



『みんなたいぼ』マヒトゥ・ザ・ピーポー(文)／荒井良二(絵)

A4判 32頁 | 2023.2 | 978-4-909394-83-5 | 2,000円

『時代劇聖地巡礼 関西ディープ編』春日太一

四六判 272頁 | 2023.3 | 978-4-909394-84-2 | 2,000円



『一泊なのにこの荷物!』本上まなみ／澤田康彦

四六判 224頁 | 2023.4 | 978-4-909394-86-6 | 1,800円



『ここだけのごあいさつ』三島邦弘

A6判 256頁 | 2023.5 | 978-4-909394-85-9 | 1,500円



『ピッツァ職人』井川直子

四六判 272頁 | 2023.5 | 978-4-909394-87-3 | 2,000円



『桃を煮るひと』くどうれいん

四六判変形 136頁 | 2023.6 | 978-4-909394-88-0 | 1,600円



『ちゃぶ台11 特集:自分の中にぼけを持て』ミシマ社(編)

四六判変形 196頁 | 2023.6 | 978-4-909394-89-7 | 2,000円

『みえないりゅう』ミロコマチコ

A4判 32頁 | 2023.7 | 978-4-909394-90-3 | 2,500円

『日本宗教のクセ』内田樹／釈徹宗

四六判248頁| 2023.8 | 978-4-909394-91-0 | 1,900円



『スポーツ3.0』平尾剛

四六判216頁| 2023.9 | 978-4-909394-92-7 | 2,000円



『マロン彦の小冒険』佐藤ジュンコ

四六判256頁| 2023.9 | 978-4-909394-93-4 | 2,400円



『味つけはせんでえんです』土井善晴

B6判変形208頁| 2023.10 | 978-4-909394-94-1 | 1,600円



『ピボウ六』佐藤ゆき乃

四六判160頁| 2023.11 | 978-4-909394-95-8 | 1,800円



『野生のしっそう 障害、兄、そして人類学とともに』猪瀬浩平

四六判変形304頁| 2023.11 | 978-4-909394-96-5 | 2,400円



『ゆきのゆきちゃん』きくちちき

A4判変形32頁| 2023.12 | 978-4-909394-97-2 | 2,500円

『ちゃぶ台12 特集：捨てない、できるだけ』ミシマ社（編）

四六判変形164頁| 2023.12 | 978-4-909394-98-9 | 1,800円

2024年

『母の最終講義』最相葉月

四六判変形176頁| 2024.1 | 978-4-909394-99-6 | 1,800円



『RITA MAGAZINE テクノロジーに利他はあるのか？』
未来の人類研究センター（編）

B5判変形224頁| 2024.2 | 978-4-911226-00-1 | 2,400円

『仲野教授の この座右の銘が効きまっせ!』 仲野徹

A6判 256頁 | 2024.3 | 978-4-911226-01-8 | 1,600円



『元気じゃないけど、悪くない』 青山ゆみこ

四六判 248頁 | 2024.3 | 978-4-911226-02-5 | 1,900円



『今日の人生3 いつもの場所で』 益田ミリ

四六判 240頁 | 2024.4 | 978-4-911226-03-2 | 1,600円

『謎の症状 心身の不思議を東洋医学からみると?』 若林理砂

四六判 256頁 | 2024.5 | 978-4-911226-04-9 | 1,800円



『極楽よのう』 内田健太郎

四六判 224頁 | 2024.6 | 978-4-911226-05-6 | 2,000円

『中学生から知りたいパレスチナのこと』

岡真理 / 小山哲 / 藤原辰史

四六判 224頁 | 2024.7 | 978-4-911226-06-3 | 1,800円



『なんといふ空』 最相葉月

四六判変形 224頁 | 2024.8 | 978-4-911226-08-7 | 1,800円



『わたしの農継ぎ』 高橋久美子

四六判変形 240頁 | 2024.9 | 978-4-911226-09-4 | 1,800円



『tupera tuperaのアイデアポケット』 tupera tupera

A6判 320頁 | 2024.10 | 978-4-911226-10-0 | 1,600円

『ちゃぶ台13 特集:三十年後』 ミシマ社 (編)

四六判変形 192頁 | 2024.10 | 978-4-911226-11-7 | 1,800円

『今日の人生 シリーズ3巻BOX』 益田ミリ

2024.11 | 978-4-911226-07-0 | 5,000円

『ゆめがきました』三好愛

A4判変形32頁 | 2024.11 | 978-4-911226-12-4 | 2,000円

『青い星、此処で僕らは何をしようか』

後藤正文／藤原辰史

四六判224頁 | 2024.12 | 978-4-911226-13-1 | 1,800円



2025年

『新版 ザ・万字固め』万城目学

四六判256頁 | 2025.1 | 978-4-911226-14-8 | 1,700円

『口笛のはなし』武田裕熙／最相葉月

四六判280頁 | 2025.2 | 978-4-911226-15-5 | 2,000円



『はるってなんか』みなはむ

A4判32頁 | 2025.2 | 978-4-911226-16-2 | 2,000円

『RITA MAGAZINE 2 死者とテクノロジー』中島岳志 (編)

B5判変形232頁 | 2025.3 | 978-4-911226-17-9 | 2,400円

『学ぶとは 数学と歴史学の対話』伊原康隆／藤原辰史

四六判340頁 | 2025.4 | 978-4-911226-18-6 | 3,500円

『建築と利他』堀部安嗣／中島岳志

四六判168頁 | 2025.5 | 978-4-911226-19-3 | 1,800円



『心の鑑の下ろし方』三砂ちづる

四六判変形224頁 | 2025.6 | 978-4-911226-20-9 | 1,900円



『過去の学生』前田エマ

四六判変形168頁 | 2025.6 | 978-4-911226-21-6 | 1,800円



『新・仕事のお守り』ミシマ社（編）

四六判240頁 | 2025.7 | 978-4-911226-22-3 | 1,800円



『仕事の壁はくぐるのだ』川島蓉子

四六判240頁 | 2025.8 | 978-4-911226-23-0 | 1,800円



『みんな大きくなったよ』本上まなみ

四六判224頁 | 2025.9 | 978-4-911226-24-7 | 1,900円



『中年に飽きた夜は』益田ミリ

A5判152頁 | 2025.10 | 978-4-911226-25-4 | 1,600円

『ゆっくりポップ』益田ミリ（作）／平澤一平（絵）

A4判変形32頁 | 2025.11 | 978-4-911226-26-1 | 1,800円

『ちゃぶ台14 特集：お金、闇夜で元気にまわる』ミシマ社（編）

四六判変形158頁 | 2025.12 | 978-4-911226-27-8 | 1,800円

2026年

『自宅で楽しむ 週末邦画劇場』春日太一

A6判並製272頁 | 2026.1 | 978-4-911226-28-5 | 1,600円



『大地との遭遇 こんな幼稚園ありかよ』税所篤快

四六判並製192頁 | 2026.2 | 978-4-911226-29-2 | 2,000円



『推し!はお遍路』上大岡トメ+ふくもの隊

A5判並製160頁（予定） | 2026.3 | 978-4-911226-30-8 | 1,600円（予価）

ウェブショップ (と、時々実店舗)

ミシマ社の本屋さん

ミシマ社の公式オンラインストアでは
書籍やオリジナルグッズを販売中です。
クリスマスプレゼントや福袋などの
シーズン企画や、過去のMSLive!(オン
ライン配信イベント)のアーカイブ動画
なども販売しています。



【ミシマ社の本屋さんショップ】

<https://mishimasha-books.shop/>



また、ミシマ社京都オフィスでは不定期で実店舗「ミシマ社の本屋さん」をオープンしています。ミシマ社メンバーが店番しつつ、おしゃべりしつつ、自社本を「産直販売」します。時にはイベントにて出張販売することも。実店舗の最新情報はミシマ社ホームページやSNSにてお知らせしています。みなさまのご来店をお待ちしております！



【HP】 <https://mishimasha.com/>



【X】 @mishimasha



【Instagram】 @mishimasha_books



グッズなども
売ってます

ミシマ社目録2026

2026年1月30日 初版第1刷発行

メンバー 三島邦弘、星野友里、長谷川実央、野崎敬乃、
須賀紘也、佐藤美月、山田真生、角智春、
西川和希、三島亜希子

発行所 株式会社ミシマ社
郵便番号152-0035
東京都目黒区自由が丘2-6-13
電話 03-3724-5616
FAX 03-3724-5618

株式会社ミシマ社 京都オフィス
郵便番号602-0861
京都府京都市上京区新烏丸頭町164-3
電話 075-746-3438
FAX 075-746-3439
e-mail hatena@mishimasha.com
URL <http://www.mishimasha.com>
振替 00160-1-372976

印刷・製本 シナノ書籍印刷株式会社
組版 有限会社エヴリ・シンク

©2026 MISHIMASHA Printed in JAPAN

本書の無断複写・複製・転載を禁じます。

ミシマ社サポーター募集中!

- ① サポート期間は
1年間です(年度ごとの
更新)



- ② いただいたご支援は
ミシマ社の出版・活動へ



- ③ ミシマ社から見贈り物
(サポーター特典)が届きます



- ④ イベントなどで
会えるとうれいです



- ⑥ うれいことは
ご一筆に!

- ⑤ 時には営業メンバー?!



ミシマ社は今年20周年イヤー! ということで、
そのアロお祝いサポーターさんと😊

ミシマ社サポーター制度の活動やお申し込み方法については
ミシマ社 HP 等のサポーターページをご覧ください。

